

令和6年度事業報告

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

公益財団法人永井科学技術財団の令和6年度(令和6年4月1日～令和7年3月31日)における理事長の業務執行および事業内容について、以下のとおり報告いたします。

1. 「令和5年度事業報告・決算報告」に関する事項

理事長は、令和5年度(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)の事業報告、収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、同内訳表、財務諸表に対する注記および令和6年3月31日現在財産目録の各案を作成し同5月21日に監事の監査・承認を受け、同日付で監査報告書を受領した。

なお、本内容は5月の理事会および6月の評議員会に付議された。

2. 「理事会」に関する事項

理事長は、定款第39条第2項に則り令和6年5月10日付にて各理事に対して下記の決議事項を提案し、令和6年5月20日までに理事全員から原案に対する同意書が提出されたため、提案議案は原案どおり承認可決された。なお、理事長は令和6年5月27日付で理事会議事録を作成した。

決議事項

令和6・7年度 永井科学技術財団 選考委員選任の件

令和6年3月末日をもって選考委員10名全員が任期(2年)満了となり、改めて選考委員10名の選任にあたり、重任8名、新任2名、退任2名を承認

3. 「理事会」に関する事項

理事長は、定款第39条第2項に則り令和6年5月24日付にて各理事に対して下記の第1号から第3号の決議事項を提案し、令和6年6月5日までに理事全員から原案に対する同意書が提出されたため、提案全議案は原案どおり承認可決された。なお、理事長は令和6年6月6日付で理事会議事録を作成した。

決議事項

第1号議案 令和5年度事業報告の承認(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

第2号議案 令和5年度決算報告の承認(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

第3号議案 令和6年度定時評議員会招集の件

・報告事項 令和5年度事業報告

・決議事項 (1) 令和5年度決算報告の承認

(2) 令和6～7年度理事・監事の選任

(3) 令和6～9年度評議員の選任

4. 「定時評議員会」に関する事項

理事長は、令和6年6月6日の理事会決議事項の承認をもって同日付にて定時評議員会を招集した。これにより、令和6年6月20日に定時評議員会が名古屋市東区東桜1丁目14番25号のホテルオークラレストラン名古屋(Web会議同時開催)にて開催され、評議員8名、監事2名が出席のもと下記報告事項および第1～3号の決議事項について審議された。結果、提出された報告事項および各決議事項は原案どおり承認可決

され、同日付で定時評議員会議事録を作成した。

報告事項

令和5年度事業報告の件（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

決議事項

第1号議案 令和5年度決算報告の承認（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

第2号議案 令和6～7年度理事・監事の改選

本定時評議員会の終結をもって理事、監事の全員が任期満了となり、改めて理事9名、監事2名の重任と退任1名の承認

第3号議案 令和6～9年度評議員の改選

本定時評議員会の終結をもって評議員の全員が任期満了となり、改めて評議員12名の重任、新任1名と退任2名の承認

5. 「理事会」に関する事項

理事長は、定款第39条第2項に則り令和6年6月20日付にて各理事に対して下記の決議事項を提案し、令和6年7月1日までに理事全員から原案に対する同意書が提出されたため、提案議案は原案どおり承認可決された。なお、理事長は同日付で理事会議事録を作成した。

決議事項

当財団理事の永井 淳を理事長に選定する

6. 「役員の変更登記」に関する事項

令和6年6月20日付の定時評議員会決議に基づき役員変更登記を令和6年8月9日に完了した。併せて、役員名簿を当財団ウェブサイトに掲載した。

7. 「令和6年度前期助成事業」に関する事項

前期助成金の公募を令和6年4月1日～5月10日の期間で実施した。当財団ウェブサイトにて募集要項を公開し、以下の申請を受け付けた。

(1) 国際交流助成金	3件
(2) 大学院生海外研修助成金	2件
(3) 大学院生国際会議発表支援助成金	14件
(4) 大学院生論文投稿助成金	1件
(5) 科学技術育成教育助成金	4件
(6) 企業化支援助成金	1件
(7) モノづくり実践支援助成金	2件

8. 「選考委員会による審査および審議結果」に関する事項

前項における令和6年度前期助成事業の応募申請に対し、各選考委員が令和6年5月23日から6月10日まで書類審査を行った。その結果から大槻選考委員長が採択候補案を作成して選考委員に提案し、書面決議による同意書が6月20日まで選考委員全員から提出されたため、以下が採択され理事会に付議することが決定した。

(1) 国際交流助成金	3件
(2) 大学院生海外研修助成金	2件
(3) 大学院生国際会議発表支援助成金	11件
(4) 大学院生論文投稿助成金	1件

(5) 科学技術育成教育助成金	4 件
(6) 企業化支援助成金	1 件
(7) モノづくり実践支援助成金	1 件

9. 「理事会」に関する事項

理事長は前項の選考委員会の決定を受け、定款第39第2項、3項に則り令和6年6月25日付で各理事に対して下記の報告及び決議事項を提案し、令和6年7月1日までに理事全員から原案に対する同意書が提出されたため、報告及び提案議案は原案どおり承認可決された。なお、理事長は同日付で理事会議事録を作成した。

報告事項

令和6年度前期募集・審査結果の件

決議事項

令和6年度前期採択者への助成金交付承認の件 [助成金額 総額970万円]

(1) 国際交流助成金	3 件	1 5 0 万円
(2) 大学院生海外研修助成金	2 件	1 0 0 万円
(3) 大学院生国際会議発表支援助成金	1 1 件	4 4 0 万円
(4) 大学院生論文投稿助成金	1 件	5 0 万円
(5) 科学技術育成教育助成金	4 件	1 6 0 万円
(6) 企業化支援助成金	1 件	5 0 万円
(7) モノづくり実践支援助成金	1 件	2 0 万円

10. 「令和6年度前期助成金交付」に関する事項

前項決議に基づき、各助成先に対して交付決定通知を行うとともに交付申込書の提出を求め、助成金を交付した。

11. 「理事会」に関する事項

理事長は、令和6年9月2日付にて理事会を招集した。これにより、令和6年10月29日に名古屋市内の「ホテルメルパルク名古屋」にて対面とWeb会議で開催した。理事(7名)、監事(2名)が出席のもと下記事項が理事長より報告され、出席者全員に了承された。令和6年10月29日付で理事会議事録を作成した。

報告事項

令和6年度上期の事業報告および収支状況報告の件

12. 受賞者交歓会の開催に関する事項

理事長は、当財団の交流事業である「令和5年度受賞者講演・交歓会」を令和6年10月29日に名古屋市内の「ホテルメルパルク名古屋」で開催することを決定し、令和6年9月2日に受賞者および財団関係者に案内をして開催した。

講演会は、前年度受賞者の【豊橋技術科学大学 次世代半導体・センサ科学研究所 教授 高橋一浩 氏の「ナノメカニカル分子認識センサの研究開発」と特別講演として【名古屋工業大学 学長 小畑 誠 氏の「名古屋工業大学と私」】にお話頂いた。また、講演会後の交歓会では受賞者と財団関係者の間で活発な意見交換が行われた。

1 3. 「令和6年度後期公募（財団賞、奨励金、助成金）」に関する事項

令和6年9月1日～10月31日までの2ヵ月間、当財団ウェブサイトにおいて公募を行い、合計44件の応募申請を受け付けた。

- (1) 財団賞の申請・・・・・・・・・・15件
- (2) 奨励金の申請・・・・・・・・・・20件
- (3) 助成金の申請・・・・・・・・・・9件

1 4. 「選考委員会による審査および審議結果（後期公募）」に関する事項

前項における令和6年度財団賞、奨励金、助成金の応募申請44件につき選考委員全員の査読審査を経た後、令和7年1月17日に選考委員会を開催した。選考委員の審議・審査の結果、以下の38件が採択され、理事会に付議した。なお、同日付で、選考委員長より審議・審査結果書の提出とともに選考委員会議事録が作成された。

- (1) 財団賞
学術賞に産業技術総合研究所・福島 学 氏をはじめ5件、技術賞に名古屋工業大学・佐藤 尚 氏をはじめ2件、奨励賞に産業技術総合研究所・島田寛之 氏をはじめ4件の計11件を採択
- (2) 奨励金
研究奨励金に名古屋大学・井改知幸 氏をはじめ9件、融合研究奨励金に名古屋工業大学・林 幹大 氏をはじめ2件、素形材のデジタル化研究奨励金に名古屋大学・崔 羿 氏をはじめ2件、カーボンニュートラル研究奨励金に名古屋大学・王 謙 氏をはじめ5件の計18件を採択
- (3) 助成金
国際交流助成金に名古屋工業大学・徳永透子 氏をはじめ2件、大学院生海外研修助成金に名城大学・齊藤巧夢 氏の1件、大学院生国際会議発表支援助成金に大同大学・瀬尾優揮 氏をはじめ2件、科学技術育成教育助成金に豊田工業高等専門学校殿をはじめ2件、モノづくり実践支援助成金に名古屋大学宇宙開発チーム NAFT 殿をはじめ2件の計9件を採択

1 5. 「理事会」に関する事項

前項の選考委員会による令和6年度財団賞、奨励金、助成金の採択結果に基づき、定款第39条第2項および第3項に則り、令和7年1月21日付にて各理事に対し選考委員会審議結果の報告とともに本件の決定についての議案を提案、理事全員から原案に対する同意書が提出されたため、添付資料に記載の交付対象者に助成することを令和7年1月28日付で承認可決した。なお、理事長は同日付で理事会議事録を作成した。

財団賞の交付金額は、学術賞100万円/件、技術賞50万円/件、奨励賞50万円/件の計800万円。

奨励金の交付金額は、研究奨励金50万円/件、融合研究奨励金50万円/件、素形材のデジタル化研究奨励金50万円/件、カーボンニュートラル研究奨励金50万円/件の計900万円。

助成金の交付金額は、国際交流助成金50万円/件、大学院生海外研修助成金50万円/件、科学技術育成教育助成金70万円/2件、モノづくり実践支援助成金40万円/件の計340万円。

合計2,040万円の交付として決定した。

16. 「令和6年度後期助成金の交付」に関する事項

令和7年1月28日の理事会決議に基づき、令和6年度財団賞、奨励金、助成金交付者に対し交付決定通知を行うとともに交付申請書の提出を求め、その申請に基づき各交付者に助成金を交付することとした。

17. 「令和6年度助成事業の実績等」に関する事項

当年度事業における財団賞、奨励金、助成金については、助成計画3,000万円に対し、総額3,010万円(61件)の助成実績となった。〔資料①-2〕

18. 「令和6年度財団賞、奨励金、助成金の贈呈」に関する事項

本件については、令和7年1月28日の理事会決議に基づき、令和6年度財団賞受賞、奨励金、助成金の各受賞者に対し、令和7年1月31日に決定を通知した。なお、財団賞及び奨励金の贈呈式は令和7年3月4日に名古屋市内の「ホテルオークラレストラン名古屋」にて行った。

19. 「理事会」に関する事項

本件は、令和7年3月4日に名古屋市内の「ホテルオークラレストラン名古屋」にて開催し、下記事項についての報告および議案審議を行い承認可決された。また、理事長は同日付で理事会議事録を作成した。

報告事項

- (1) 令和6年度事業報告の件
- (2) 令和6年度収支決算見込み報告の件

決議事項

- 第1号議案 令和7年度事業計画の件
- 第2号議案 令和7年度収支予算の件
- 第3号議案 令和6年度余剰金を基本財産へ繰入れる件

以上